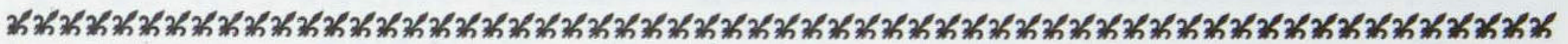


ロータリーに活力を— あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

1988~89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー ● 第256地区ガバナー 樫内悌三郎
 - 会長 — 杉野 奎司 ● 副会長 — 小林 英雄 ● 幹事 — 長谷川有美
 - SAA — 榎本 勝、近藤 雄介 ● 例会日 — 毎週水曜日 12:30~
 - 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
 - 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)
- クラブ会報委員 — 伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉、渋谷 正一、小林 正義



出席会員数	会員 72名中 55名
先々週出席率	91.67% (前年同期 96.83%)
ビジター	三条南より 山崎 昇君 三条北より 外山晴一君、笹原勝治君、中條耕二君
ゲスト	分水町郷土史研究会会長 原田仁一郎殿
先週のメイクアップ	3/20 新潟北へ 渋谷健一君 3/27 三条南へ 小林九満太君、堀川政雄君、伊藤廣一君、 近藤雄介君、松谷昊吉君、渡辺喜彦君、 加藤紋次郎君 3/28 三条北へ 伊藤廣一君、五十嵐総一君、五十嵐 力君、 渋谷健一君、轡田秋夫君、金沢興宗君、 濱 潔君、大谷幸平君、外山一郎君、 五十嵐昭一君、岩井数央君
会長挨拶	杉野会長

御挨拶を申し上げます。お客様には気楽にお寛ぎ下さる様お願い申し上げます。
気候の方は不安定でございますが、桜前線は順調に北上している様でございます。
桜が終わりますと、三条の春の祭となりますが、先日幹事の方から5月オープンの三条

歴史民俗産業資料館へロータリークラブ、三条の三クラで寄贈について報告をいたしました。看板と放送施設と写真パネル等がありますが、その中の写真パネルは、三条文人で古参の五十嵐華亭という人の絵で三条市史の上巻に写真が載っております。

本物は村上の資料館にありまして、それは三条が村上藩の管領地でありました、1822年(文政5年)167年前、藩主の内藤信敦が京都の所司代になったとき、三条の郷民が催した祝宴の図を画いたものです。150年は経っているのでしょうか。

祭の大名行列、そして渡御(神輿)はやはりその時10万石の格式を模に行ったものだそうです。

大変知っている振りをして、失礼を申し上げました。ご挨拶いたします。

幹事報告 長谷川幹事

○例会変更のお知らせ

三条南RC — 4月17日(月) — 観桜会PM7:00~弥彦グランドホテル

○沼田RCより 沼田ロータリークラブ創立30周年記念事業

シンポジウム「みんなで考えよう高齢化社会・利根沼田」の報告書がとどいております。

○吉野ガバナーノミニ事務所より

1989~90年度 第256地区協議会における出席、宿泊等について予備登録のお願い

平成元年6月10日(土)12:30~クラブ会長エレクト研修セミナー

18:10~会長、幹事会

6月11日(日)9:00~会長、幹事会

10:20~地区協議会

会場: 桐生市地場産業センター

出席義務者: 第1日目 次年度会長、幹事

第2日目 次年度会長、幹事、クラブ奉仕、会員増強、職業奉仕、社会奉仕、高齢者問題、青少年活動、国際奉仕、ロータリー財団、米山奨学、ローターアクト 以上12名

4月のお祝い

◎会員誕生祝 17日 藤田紘一君 18日 濱 潔君 26日 榎本 勝君

27日 藤村義彦君

◎夫人誕生祝 1日 佐藤安子さん 5日 須田優子さん 19日 滝沢キノさん

24日 捧 ミヨエさん 26日 外山総子さん

◎結婚記念日 2日 杉野奎司君 3日 佐藤信次郎君 5日 渡辺宏策君

6日 渡辺喜彦君 9日 野村竹三郎君 10日 吉井俊介君

10日 堀川政雄君 15日 藤村義彦君 18日 轡田秋夫君

22日 松谷昊吉君 23日 藤田説量君 25日 高橋一夫君

26日 川又嘉瑞範君 29日 日戸平太君 29日 古沢富雄君

◎100%出席賞 20年 野水文治君 17年 銅冶 倫君 11年 日戸平太君

8年 杉野奎司君 3年 伊藤廣一君

ニコニコボックス ¥10,000

杉野君 原田先生をお迎えして。

石橋君 久しぶりに原田仁一郎(元裏館小学校校長)様のお顔を拝見して、ようこそおいで下さいました。

熊倉君 私の関係している三条市高等職業訓練校の修了式に杉野会長より生徒2名にロータリー賞を授与して戴きました。有難度うございました。

加藤君 3月24日、金子清新新潟県副知事をお迎えしての県央振興懇話会の例会の盛況を祝して。

五十嵐(総)君 64名のお客様をおつれしてシンガポール、バンコク、ソウルを回って無事帰国出来ました。久しぶりのホームクラブ出席です。

高橋(一)君 欠席がつづいて申し訳ございません。

ロータリー財団ボックス ¥9,000

五十嵐(総)君 次女が無事高校合格いたし、ホット致しました。

渋谷(正)君 長男が4月5日に三中に入ることになりました。まだまだガンバラなければ。

高橋(一)君 次男がなんとか入学いたしました。

五十嵐(昭)君 長男が高校に入学致しました。

卓話 良寛の生き方とそこから学ぶこと

分水町郷土史研究会会長 原田仁一郎 殿

良寛様に対して興味を持ったのは、中学の理科の教師の頃でございます。私の家は良寛様と関係があったのです。良寛様としたしく交った人が私の家から出たのです。良寛の弟の由之、遊子の子供の馬之助の後室、彦坂貞子が、その後馬之助が早く亡くなりましたので私の家に後妻に入っている、そんな関係があった。

はじめは興味はなかったのですが、だんだん親父が年を取って来て良寛様について聞いても何も言ってくれなくなったので、これでは親父が死んだらこまると思った。いろいろと自分でわかるようになりたいと思った。

とにかく私が45歳ぐらいの時、吉田中学の教頭をしていたことがありました時、友達にさそわれて、乙子神社の草庵の拓本を取りにまいりました。安政5年に阿部定綱が建立者でございまして、それを設立するのに努力したのが小川霞山でございます。



良寛の石碑の中で一番古いのが三条の八幡様の石碑だそうですが、その次ぐらいに古いのが、この碑でございます。

しょうがいをたてるにもうく 生涯(懶)立身	とうとうてんしんにまかす 騰々任天真	のうちゅうさんじょうこめ 囊中三升米	
ろへんいっそくのまき 爐辺一束薪	たれかとはんめいごのあと 唯間迷悟後	なんぞしらんみょうりのちり 何知名利塵	やうそうあんのうち 夜雨草庵裏
そうきやくとうかんにのばす 双脚等間伸			しゃもん 沙門良寛書

『立身出世すると言うことはめんどうくさくて、とうとうとして天の動きに自分の生涯をまかせてしまった。袋の中に三升の米と爐端に一束の薪があれば、あとは私は何もいらない。誰かえらい坊さんが悟りを開いて、りっぱなお寺の住職になることは私には関係ない。(しかし、良寛様は禅宗の坊さんとして悟りの境地まで行かれておるのです。)私はそういうりっぱな寺に住む意志はない。私は名誉とか、お金などは塵、芥に等しい。私には用事のない事だ。夜の雨の降っている草庵の中で両手両足をぐっと伸ばして、今日も一日終わったなあ』と言う漢詩でございますね、ほんとうにすがすがしい気持ちの漢詩だと思います。書は乙子神社時代の書でございます。

あさつくひ 安散都久非	むかひのおかに 無閑比能遠可耳	さおしかたてり 左遠志可當(脱)里
かみなづ 閑美奈川き	しぐれのあめに 之久礼能安女爾	ぬれつつたてり 奴礼都々當天理

これは施動歌と言いますが、5、7、7で問いかけて、それに5、7、7で答える、二人で問答形式による歌の形式です。これは万葉時代に栄えたのですが、その後すたれてしまいました。良寛様の歌には施動歌とか長歌が多いようです。

出雲崎の良寛記念館は年間20万人、国上山は年間6万人ぐらいの方が来ておられます。そうゆう方は良寛にみせられている人達です。

三条市にも金子会長のもとで立派な良寛会がございまして、なぜそんなに良寛にみせられ

るのか、日本だけでなく海外からもたくさんの方がまいられます。良寛様の魅力と申し上げますと、

① 名利を捨てたこと、「名誉と金を捨てた」。

人間の欲望は一つ満足すれば、次に新しい欲望が起きて、かぎりないものだ。その欲望を充たすために人を傷つけたり、自分も傷ついたりする、そういう欲望を捨ててしまえば気持ちが穏やかに今日を暮らすことが出来る。

② 正直である。「良寛様はウソの言えない性質」。そのために庄屋としては不適任であった。16歳にして出雲崎の庄屋見習いをしたときも失敗の連続であった。

③ 仏の慈悲の心、キリストの神の愛の心で万物に接した、これは絶対的な愛です。すべてのものに平等に愛する。草も木も虫もましては人間においては、乞食の親子に紹介状を持たせて計良家にやったりした。

④ 自己主張をしない。俺が、俺がとゆうことを言わない。今は民主主義ですから、自己主張は当然あるわけですが、俺はこうだとは言わない。

⑤ 人に説教をしない。自分の人格(人徳)で人を教化した。有名な話に良寛様は道楽息子をよく感化しております。計良家の熊之助、自分の弟の伴の馬之助の道楽を説教してくれとたのまれて、出雲崎の家に3、4回泊って、いつ説教をしてくれるだろうかと思っていたが、いっこうに馬之助に説教する気配がない、しかし最後の日に帰る時に、「馬之助や、俺のわらじの紐を結んでくれ」とそう良寛が言ったので縁側に腰掛けた良寛にわらじの紐を結ぶと首に熱いものがポトリポトリと落ちた。馬之助が上を見ると良寛の両目には涙が一ぱいたまっていた。それを見た馬之助はそれからびたりと道楽をやめたと言うことです。そういうように人に説教をしないで、良寛の人徳と申しますか、人格と申しますか、それにふれて感化された人が何人かおります。

⑥ 自己にきびしく修業の道を励んだ。農民の汗の労働に感謝の気持ち。座禅を組み、書を読み、書をかき、歌を作り、詩を作り、それだけのことを山の中の草庵で、それだけの業をやっております。良寛の詩の中できびしいのは同業の僧の坊さんについて言っております。今の僧は何も修業もしないで、祖父さん、婆さん、善男、善女をたぶらかして、そして金欄緞子の袈裟を掛けて、なさけないかぎりであると言うような詩を残している。禅宗の坊さんは「耕やさざる者、食うべからず」とゆう禅宗の原則があります。

⑦ ことばに注意、戒語、ことばに関することが一番多い。語らなければ憂いなし、と言っております。へたなことを口に出して、あとで失敗するよりも語らなければそうゆうことはない、良寛自体は非常に口数の少ない人だったそうです。



⑧ 書に詩、歌にすばらしい芸術性を残し、そこから心に触れることが出来る。

良寛様の書が国の重要文化財になっている。会津八一氏が良寛の歌は万葉調で素っ気がない。書は神品、神の指南にも勝ると絶唱された。そういうすばらしい芸術を残された。

現代の世相の中で一番欠けているものをみんな持っている人が良寛である。現代の人達が日本だけでなく、海外の人達までも良寛を敬慕するのはそこにある。

キーワード 89年のカレンダートレンドはハウツー物

カレンダーの制作、販売で業界トップの新日本カレンダーによれば、カレンダーのマーケットは月めくりタイプだけで毎年3億冊だそうです。

そんな中で、アイデア性、実用性がウケたのが「89ゴルフルール・カレンダー」4年に一度改正される日本ゴルフ協会のルールの最新版を収載。日めくりタイプで365の事例をイラストと組み合わせてQ&Aで紹介している。例えば元日は「ストロークプレーのスタート前に1番のティの付近でアプローチ・ショットの練習をしたらルール違反か？」という質問。答は「競技のスタート前に最初のホールティ周辺で、チップやパットの練習をする程度は許されている」。

Q&Aをまとめたゴルフ評論家は、「自分の判断によって常にフェアプレーを心がければ、難しく敬遠されがちなルールもきっと楽に覚えられます」と言っています。

発売元の新日本カレンダーでは毎年百種類のカレンダーを新しく企画しているそうです。カレンダーにも、高級化と実用性重視の傾向がありますが、このようなハウツーものは新しい流れのようです。



次週例会	4月5日	創立記念夜の例会 於	PM 6:30~ 三条ロイヤルホテル
次々週例会	4月12日	卓話	谷村憲一会員